



「グローバルウィーク」で国際理解を深める！
11月6日(月)～11月9日(木)



仙台東高校では、国際理解に対する意識を高めるために「グローバルウィーク」を設定し、世界のニュースや地球的諸問題と向き合う機会を設けています。今回のテーマは「外国人との共生・援助」でした。1週間にわたって講義や講演、ワークショップが実施され、多くの生徒が熱心に取り組み、この課題について考えを深めました。

○11月6日(月) 放課後 [会議室]

異文化理解講座①

「ルワンダの暮らしから考える
～持続可能な開発とは～」

仙台市保健所(JICA:OG) 豊川 絢子 氏

JICA青年海外協力隊の一員としてルワンダで活動した経験を踏まえ、国際的な支援のあり方について、支援をする側の都合だけで行おうとすると「支援の断片化」が起きてうまくいかなくなるため、支援を受ける側の事情をよく理解したうえで取り組む必要があるということをお話してくださいました。



○11月7日(火) 放課後 [会議室]

異文化理解講座②

「仙台での外国人の生活Ⅰ」

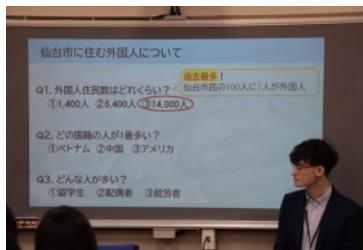
・仙台在住外国人による体験談(生活・防災)

○11月8日(水) 昼休み・放課後 [会議室]

異文化理解講座③

「仙台での外国人の生活Ⅱ」

- ・ハラルカレー出張販売(ハラルカレー・ナン)
- ※ハラルカレー
イスラム教の戒律によって食べることが許されている食材で作ったカレー
- ・仙台在住外国人による体験談(生活・文化)



○11月9日(木) 13:55～15:45 [体育館]

国際講演会

「世界とつながる仙台

～魅力を伝える・ともに暮らす～

仙台市長 郡 和子 氏

仙台の魅力の世界に発信することや、在仙外国人との共生を推進することについて、仙台市の取り組みを紹介するとともに、国際社会の一員となるべき生徒達に応援メッセージをくださいました。



この他にもコモンホールで国際交流委員等による展示や募金活動、食堂での限定メニューなどたくさんの催しが行われました。

球技大会

10月20日(金)

秋のさわやかな天気のもとで、サッカー・ソフトボール・ドッジボール・バスケットボール・バレーボールの各競技について、クラス対抗の試合が行われました。特製クラスTシャツを着た選手たちへの声援が響くなか、あちこちで熱戦が繰り広げられ、生徒は大いに楽しんでいました。またバレーボールの会場では、最後に教員チームが生徒チームと対戦しました。



「総合的な探究の時間」 発表会

2学年「社会貢献プログラム」発表会

10月24日(火)

宮城大学 笠原紳教授を講師にお迎えして、各クラス3名計18名による発表が行われました。

1学年「総合的な探究の時間」発表会

11月14日(火)

国際理解分野の課題について、各クラスの代表グループによる発表が行われました。



打ち上げ花火

11月8日(水)

生徒を応援する意味を込めた、PTA主催「仙台東高校打ち上げ花火」が、同窓会協賛のもとで実施されました。グローバルウィークのさまざまな催しとともに学校の雰囲気を盛り上げました。



芸術鑑賞会

11月16日(木)

オーケストラバンド「ラテンオーケストラ・エストレージャ」さんによる演奏を鑑賞しました。ラテン音楽のリズミカルなメロディーに合わせて生徒、教職員も皆歌ったり、踊ったりしました。

